

2025 年 10 月 1 日
日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかな回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費は、物価上昇等の影響を受けつつ、底堅く推移している。設備投資は、非製造業を中心に増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。

県内製造業の生産は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

この間、各国の通商政策等の影響を受けて、輸出関連企業を中心に受注・生産面や収益面等への下押し圧力がみられている。先行きについても、各国の通商政策の今後の展開や、その影響を受けた海外の経済・物価の動向等を巡る不確実性が高い中、それらが当地の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、物価上昇等の影響を受けつつ、底堅く推移している。

百貨店・スーパー売上高は、物価上昇等の影響を受けつつ、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、持ち直している。家電販売は、持ち直しつつある。主要観光地への入り込みは、高水準となっている。

設備投資は、非製造業を中心に増加している。

9月短観調査における2025年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加見込みとなっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、緩やかに増加している。

(2) 生産

県内製造業の生産は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。

主要業種の生産動向をみると、輸送用機械は、回復している。電気機械は、A I 関連需要等を背景に、緩やかに持ち直している。はん用・生産用・業務用機械は、高水準となっているが、米国の関税引き上げの影響を受けて一部に弱めの動きがみられている。鉄鋼は、国内の輸送用機械向けは堅調となっている一方、中国経済の改善ペース鈍化等の影響を受けて、横ばい圏内の動きとなっている。化学は、中国経済の改善ペース鈍化等の影響から、弱めの動きが続いている。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、2 % 台後半となっている。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利は、幾分上昇しているが、引き続き低水準で推移している。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1

日本銀行岡山支店総務課 電話 086-227-5111（代表）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知る ぼ る と
岡山はこちら!!

